

3-1

丘陵地の豊かな自然環境と農空間

南区の南部丘陵エリアは、豊かな自然が残る地区で、堺市の「緑のシンボルエリア」の一つに位置づけられ、良好な営農環境と一体となって市民のレクリエーションの場として活用されています。

南部丘陵エリアには、市民が里山や農業とふれあえる施設として堺自然ふれあいの森、農業公園ハーベストの丘、フォレストガーデン（貸し農園）などがあります

●堺自然ふれあいの森（畑1740他）

市民との協働により、豊かな自然環境や多様な生き物の生息空間を保全し、次の世代に残す里山公園です。

豊かな自然環境が残された17.2haの里山において、里山体験プログラム（自然観察会、クラフト教室、農作業体験、樹林管理など）を提供しており、里山活動や環境教育の拠点となる「森の館」があります。



ふれあいの森



森の館

●フォレストガーデン（釜室188-1・他）

身近な自然に親しみ、農林業体験を通して健康的なレクリエーションの場を提供しています。

また、自然緑地を保全し活用することで、地域の振興も目的としています。



●ハーベストの丘（鉢ヶ峯寺2405-1他）

「新鮮・安全・美味しい農産物あふれる収穫祭の村」をテーマに設立した堺・緑のミュージアムです。

パンづくりやソーセージづくり、クラフト、陶芸の体験教室や羊の追い込みショーなどのかわいい動物とのふれあいが人気です。農産物直売所もあり、野外ステージなどでは、年間を通じて様々なイベントが実施されています。

また、菜の花やヒマワリ、コスモスなど四季を通じていろいろな花が咲いています。

